

研究テーマ「学び続ける共同体としての学校の創造」

高学年部メンバー（松本 大介・村田 正之・羽仁 克嘉・五十嵐 敏文）
福田 淳佑・越後 佳宏・井上 陽童・戸澤 有紀子）

1. 高学年部がとらえる「学び続ける共同体としての学校」とは

学び続けるためには、自分で問いをもち、考えたり調べたりして解決し、さらに次の問いをもつ、という個の中での学びが基本となろう。しかし、個の中だけで学び続けられる子どももいるではあるが、多くの子どもにとっては継続していくのが難しいと考える。

そこで、重要となるのが他者の存在である。他者からの刺激を受けることによって、自分の問いを発見し、他者との話し合いを通して共通の問題へと発展したり、それを追究したりしようとする姿が生まれてくるのではないか。その過程のなかで新たな問題に気づいていく。

他者とのかかわりを媒介とすることで、個が学び続けることができる。この一連の過程を生む学びの集団こそが学び続ける共同体としての学校であると考えられる。

2. 高学年部として期待する子どもの姿

以上述べてきたように、高学年部では、他者とのかかわりによって学び続ける子どもの姿が見られると考え、「共感と自律に根ざした自己表現を→自立する自分」と重点テーマを設定している。

その姿に向けて育てたい力を以下の3つの観点から考えている。

① 仲間に自己を発揮する自己表現

目的に応じ、かつ自分らしい方法で、自己の願いや求めを表現する。

② 仲間の表現に共感するコミュニケーション

相手の考えを受け止め、さらにその意図や内容とのかかわりを意識して自分の考えを伝え、よりよい考えをともに練り上げる。

③ 仲間とのかかわりをつくる社会的スキル

相手の気持や立場を尊重し、自分の行動や態度を見つめ、よりよいかかわり方を考えながら行動する。

3. 今回の実践で、目指す子どもの姿

本校の研究テーマ「学び続ける共同体としての学校の創造」をしていく上で、友達の考えを聞き、自分の考えを友達に伝えることと密接にかかわっていると考えている。

そこで、高学年部会では、「聞く・話す」という観点から授業を構成することで本校の研究テーマに迫ることができると考えた。

今回の実践では、一人読みを基盤にして授業を構成していく。一見、上記の「他者とのかかわりによって学び続ける姿が生まれる」と矛盾するようだが、その理由を以下に述べる。

1でも述べたが、学びの基本は個の中で行われるべきものであると考える。個の考えが十分にもっていない状態で、他者との話し合いをしても、他者の考えを受身で捉えることしかできない。自分の考えを十分にもっていてこそ他者と話し合う中で、自分の考えとの共通点・相違点に気づき主

体的に学ぶことができるのである。

上記2の②で述べたように、「仲間の表現に共感する」という「聞き手」としての育成をしていくことも大切ではあるが、まず、「仲間に自分の考えを表現する」という「話者」としての技術を高めていきたいと考えている。

そのために、以下のような工夫をした。

第1に「文章に書かれた事実をもとに、根拠を明確にして自分の考えをもつ」こととともに、「話者の先行体験などをもとに、行間を読み取り、推量する」ことである。今回の実践では、「読みの星座」づくりを通して、文章に書かれた事実を正確に読み取り、根拠を明確にしていくための手立てを講じている。さらに、「人物関係図」づくりを通して、「文章に記述されている事実」と、そこから推量される登場人物の考え方・生き方、登場人物間の関係を推量できるような手立てを講じている。これらの手立てにより、より深い一人読みができるよう工夫している。

第2に、途中でグループでの話し合いの場を設けたことである。一人ひとりが、自分の考えたことを仲間に発信し、それを受信するという場を設

定したのである。このことにより、

①仲間に伝えるために、根拠を明確にして（文章の叙述に即して）自分の考えを伝えたり、先行体験などに基づいて、推量したことを伝えたりする。

②自分の気づかなかった読み取りの仕方・考え方を仲間の発表を聞いて知ることにより、新たな問いをもったり、考えの幅を広めたりする。

③①②の発信と受信の経験を繰り返すことで、新たな問いをもったり、考えの幅を広めたり、また、仲間との話し合いで問題が解決したりして、一人読みを深める。

という姿を期待している。

事実、前時のグループでの話し合いでは、太一と与吉いさグループのT君は「千びきに一びきでいいんだ。というのに最初は気づかなかったけれど、Hさんの意見で気づきました。」と仲間との話し合いを通して、読みが深まっている姿をみる事ができた。

これらの発信と受信の繰り返しで相互啓発され、学び続ける子どもの姿を実現していきたいと考えている。

学び続ける共同体としての学校

